総　合　反　省

　教育実習前に大学の授業で学んだ○○について，実習を通して・・・。

　最初の１週間は，配属された学級の授業を参観し，授業の作り方や教材の提示の仕方，子供への発問の様子等を，抽出児を決めてメモをとりながら観察した。すると・・・

教育実習に参加する前は，大学での授業を通して○○を学び，これで十分であると考えていたが，教育実習の○○の経験から，・・・。

1.はじめに

2.実習を通して学んだこと

(1)授業を通して

① 指導教員の授業参観から

②・・・

(2)・・・

3.おわりに

＜体裁＞

・４枚（８ページ）以上作成する（実習期間の長短（２週，３週，４週）に拘わらず４枚以上とする。ただし，教育学部２年次の「観察・参加実習」は２枚（４ページ）以上とする）。

・文字サイズは10.5pt, フォントはMS明朝とする。必要に応じて強調箇所をゴシック体とすること等は可。図表等を貼り付ける場合，文字サイズ，フォントは任意とする（小さすぎて読めないことなどがないように注意すること）。

＜記入する内容＞

・基本的には，以下の構成で記載する。

　⒈　はじめに

　　※ 実習前に記入しておくことが望ましい。実習に当たっての目的や意図（実習を通して何を学びたいと考えるか，自身の課題等）を記載する。

　⒉　実習を通して学んだこと

　(1)・・・

 ①・・・

|  |
| --- |
| 例）(1) 授業実践の視点から　　(2) 生徒指導・学級経営の視点から　　(3) 教師という仕事の視点から　等 |

　⒊　おわりに

実習を通して学んだことの成果と課題，それらを受けて今後の大学でどのような学びを進めていくかについて記載する。

＜留意事項＞

・今回の教育実習を振り返り，実習を通して学んだことを，項目（左列に番号を付して見出しを記入）ごとに記入する。必要に応じて，実習前との比較を記載する。

・理論と実践の比較の観点から記入する。ただし自らを評論家としてではなく，あくまで実践家としてのスタンスで，事実を基に考察を行う。